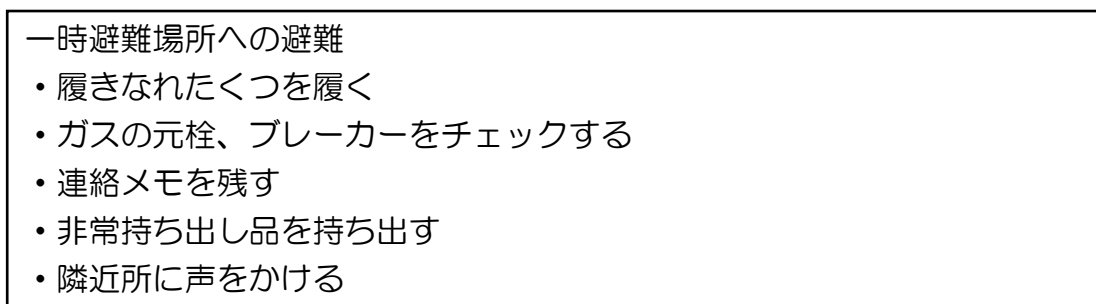
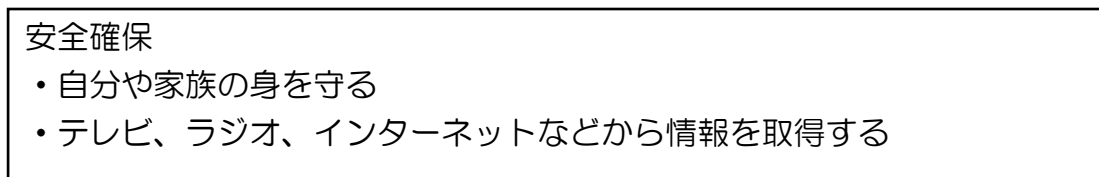
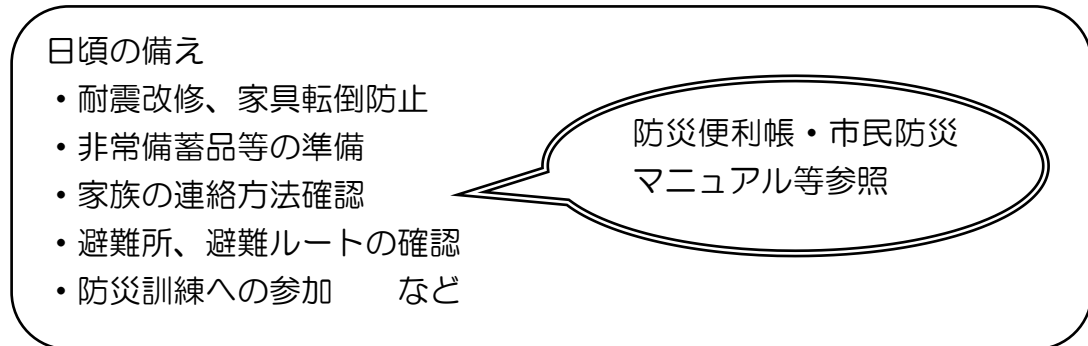


6 災害発生時の避難行動（シュミレーション）

（1）地震



初動部隊は一時避難所の開設を行う

- 避難所の開錠
- 避難所の設営
- 物資の点検

一時避難場所での確認

- 隣近所で安否を確認しあい、町会代表者に報告する
- 町会代表者は安否確認状況を把握し、住民等に協力を求め、確認できない地域住民の安否を確認するよう努める
- 救出・救護が必要な場合は、町会代表者は住民等に協力を求め、救出・救護に努める
- 火事が発生した場合は、町会代表者は住民等に協力を求め、初期消火に努める
- 災害時避難所の鍵の保管者は災害時避難所に向かい、開錠する

災害時避難所への避難

- できるだけ集団で避難する。
- 安全な道を通り避難する
- 町会代表者は、住民等に協力を求め、避難行動要支援者を支援するよう努める
- 被害状況を確認しながら避難する（負傷者を発見した場合、自己の安全を確保したうえで判断して下さい）

災害時避難所での確認

- 本部長、副本部長、総務班は災害対策本部を立ち上げる
- 町会代表者は、安否確認、救出・救護、初期消火、被害状況等を情報担当に報告する
- 庶務班・情報担当は災害情報等を集約する
- 初期・消火班は住民等に協力を求め、初期消火活動に努める
- 救出・救護班は住民等に協力を求め、救出・救護活動に努める
- 避難誘導班・安否確認隊は住民等に協力を求め、安否確認・避難誘導活動に努める。

災害時避難所運営

- 一定程度落ち着いた状況になった時本部長、副本部長は避難者に協力を求め、避難所運営委員会を立ち上げ、避難所運営にあたる
- 業務班は避難者に協力を求め、炊き出し等の給食・給水活動に努める
- 避難者は避難所運営責任者の指示に従うとともに、避難所運営に協力する

(2) 風水害

日頃の備え

- 側溝や排水溝など家のまわりの点検
- 非常備蓄品等の準備
- 家族の連絡方法確認
- 避難所、避難ルートの確認
- 防災訓練への参加 など

防災便利帳・市民防災
マニュアル、水害ハザ
ードマップ等参照

風水害発生のおそれ

安全確保

- テレビ、ラジオ、インターネットなどから気象情報を取得する
- 早めに避難する
- むやみに外出しない

避難情報

避難するときは

- 動きやすく安全な格好をする
- 浸水している状況では近くの高い建物に避難する
- やむを得ず浸水の中を移動するときは
 - 深さに注意する（マンホールの蓋が無くなっている場合もある）
 - 足元に注意する
 - ひとりで行動しない
 - 子どもや高齢者などに配慮する

安全な場所への避難

- 一、二階建の木造住宅やマンションの低層階など、浸水のおそれがある階に居住している場合
⇒災害時避難所や近くの高い建物に避難する
- マンションの三階以上など浸水のおそれのない階に居住している場合
⇒自宅の安全な場所で待機し、安全を確保する

* 災害時避難所を開設したときは
被害の程度や避難状況に応じて「(1) 地震」に準じて必要な体制
を取り、避難所運営にあたります